

らくらく経済学入門「計算問題編」(追加問題-2)

追加問題

コブ=ダグラス型以外の効用関数の応用

X財の消費量をX、Y財の消費量をYとし、これら2種類の消費財からなる効用関数が与えられています。

X財の価格を $P_X = 2$ 、Y財の価格を $P_Y = 4$ 、所得を $M = 50$ として、このMがすべてX財及び、Y財に支出されているものとします。このとき、消費者が効用を最大化して行動した場合、ア~エの記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げているのはどれですか。

ア 効用関数が $u = X(2Y + 5)$ であれば、消費量の組合せは、 $(X, Y) = (5, 10)$ です。

イ 効用関数が $u = X(2Y + 5)$ であれば、貨幣の限界効用は、7.5 です。

ウ 効用関数が $u = \min(X, 3Y)$ であれば、消費量の組合せは $(X, Y) = (15, 5)$ です。

エ 効用関数が $u = X + 3Y$ であれば、消費量の組合せは、 $(X, Y) = (25, 0)$ です。

- 1 ア、イ
- 2 ア、ウ
- 3 ア、エ
- 4 イ、ウ
- 5 ウ、エ

(国家一般職 改題)